

公表

## 事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	自立サポートセンターつぼみ		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各関係機関との連携体制の更なる強化	報告・連絡・相談の徹底 情報の収集と共有を図るため職員間のコミュニケーションを重要視している	必要に応じてケース会議を開催したり、就学までのスケジュール等保護者様の不安解消に繋がる提案やサポートを充実させる
2	少人数で行き届いた細やかな支援の提供 落ち着いた静かな環境を整え、集中できる空間を提供する	細かな目標の設定を行い、達成感を実感してもらえる支援の提供 就学へ向けた準備、取組みを強化する	専門的な支援の提供が出来る状況にない為、保護者のニーズに応えられないことがある(言語・作業)
3	個々に合った支援の徹底 基本に基づいた支援の提供 職員との信頼関係の構築 個人担当制を用いず、様々な角度から課題解決の糸口を探る	一人一人の小さな「できた！」を認めて共に喜び、それぞれの成長に寄り添う意識を持って支援に取り組んでいる	集団活動の中で個々のニーズや要望に対する支援の質の維持

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「分からない」の回答も多く見られ、アンケートの重要性を周知出来ていない問題点。	保護者様に対し療育活動自体に更なる興味・関心を持って頂けるような機会の提供が少なかった点	ホームページ・SNSの活用
2	保護者同士の繋がりを持てる機会の提供 ※ペアトレの開催等	本人支援と保護者支援のバランス 職員の経験・技量による差	職員のスキルアップ 専門的な知識・技量の習得
3	専門的支援の提供	経営状況による職員採用のバランス	様々な媒体を利用しての採用を促す 外部からの講師を検討する(研修・講話)